



未来に向け 躍動するまちづくり

快適に暮らせるまちづくりのために、道路や上・下水道、公園など、生活の基盤となる社会資本の整備を進めていきます。

道路交通網の整備

▼国道 白根市の南北を走り、幹線道路として将来の市勢発展に大きく関わる国道8号。地権者の皆さんの理解とご協力をいただきながら白根バイパスの道路構造を具体化し、関係機関と連携を取って事業の促進に努めます。

国道40号は、白井バイパスの用地買収を引き続き促進するほか、諏訪木バイパスの残りの一部用地の買収と工事に取り組む予定です。

▼県道 主要地方道長岡・栃尾・巻線の両郡橋架け換え計画のうち、中ノ口川堤防から国道8号までの白根市側の取付道路が昨年事業採択されたことから、同区間の取付道路の調査を開始し、整備を促進します。また、加茂市側のバイパス計画の早期実現に向け、引き続き国や県に事業採択を要望していく方針です。

新潟大外環状線は、関係市町村で策定した構想路線を県の事業として早期に実施できるよう、関係市町村と連携を取りながら働きかけていきます。

ほかにも、改良幅整備や歩道整備など各種事業の促進と早期完了に向けて努力していきます。

都市基盤の整備

▼上・下水道 上水道は、増加している給水需要に対応するために進められていた戸頭浄水場拡張工事が今年度で完了。引き続き水道管網の整備を進め、安心して飲める水道水の確保と安定供給に努めます。

総合的土地利用の推進

▼排水路 広域排水事業を引き続き促進していくほか、県営地盤沈下対策事業「中ノ口川右岸地区」の事業を進め、安定した農業用水確保のため、用・排水路などの改修を行います。また、昨年度夏の集中豪雨を教訓に、庄瀬中学校周辺の堤外地排水施設の整備を進めるなど年々要望が高まっている排水施設や側溝などを計画的に整備していきます。

各種土地利用計画の策定や社会・経済情勢の変化などに対応していくため、平成二年に策定した国土利用計画（白根市計画）を見直ししていきます。また、白根総合公園から国道40号までの区域約二六ヘクタールを計画的なまちづくりのため、用途地域拡大に向けて調査を進めていきます。



主な事業と予算額

(単位：万円)

- 交通安全施設等整備事業 2,900
- 緊急地方道路整備・臨時交付金事業 6,100
- 市単独道路整備事業 2,112
- 橋りょう整備事業 1,120
- 街路整備事業 1,350
- 公共下水道事業 3,083
- 水道事業会計老朽管更新事業出資金 1,400

都市下水路準幹線排水路整備事業

- 新飯田地区排水対策調査事業 400
- 上下諏訪木地区都市計画決定調査事業 750
- 庄瀬堤外地排水施設整備事業 1,960

主な事業と予算額

(単位：万円)

- ホームヘルプサービス事業 4,055
- 在宅介護見舞金制度 350
- 地域総合整備資金貸付金建設事業負担金 10,000
- 保育制度検討委員会(仮称)の設置 394
- 通所作業所「しろねふれあい工房」補助事業 400
- 成人病予防対策事業 259
- 伝染病予防対策事業 903



健康で心ふれあう 福祉のまちづくり

家族形態の変化や生活様式の変化に伴ってさまざまなニーズが福祉に求められています。白根市社会福祉計画な

生涯福祉の推進

▼高齢者福祉 高齢化の進行に伴い、寝たきりの老人などが増加しているのに対して、在宅介護の支援体制を充実させていきます。在宅福祉を支える上で重要なマンパワー対策については、平成十一年度までに年次的にヘルパーを増やしていく、ホームヘルプサービス事業の充実を図ります。また、今年度から寝たきり老人や重度の障害者などを家庭で介護している人に見舞金を支給します。

拠点施設の整備については、建設中の特別養護老人ホーム「しなの園」への負担金を計上するほか、白根健康病

院が建設している老人保健施設に地域総合整備財団のふるさと融資制度を活用して支援していきます。

▼障害者福祉 心身に障害を持つ人たちの生活行動範囲の拡大と社会参加を促進するため、国や県と協調しながら福祉向上に努力していきます。昨年開設した「しろねふれあい工房」の運営を、今年度から新たに補助していきます。

▼児童福祉 女性の社会進出や少子化の進行などから、保育ニーズも多様化しています。これに対し、延長保育や乳児・未満児保育などの特別保育を拠点方式で実施し、保育の充実に努力していきます。また、今年度から保育制度検討委員会を設置し、今後の保育内容のあり方や施設の適正化を検討していきます。

健康づくりの推進

▼母子保健事業 核家族や少子化などで子育ての環境が変化してきているこ